読者の広場

gakugei@nnn.co.jp

やまびこ

「やまびこ」は意見やほのぼの話題などで400字以内、「散歩道」は随想などで700字以内、「私の視点」は時事評論などで700字以内。「私の作品」はイラストや写真などで、はがきや写真にひと言添えて送ってください。採否の問い合わせ、応募された原稿や写真の返却、匿名、他紙との二重投稿はお受けできません。文章を添削する場合があります。採用分には図書カードを贈ります。原稿には必ず郵便番号、住所、氏名、年齢、職業（学年）、電話番号を明記してください。

郵送〒680-8688 新日本海新聞社「読者の広場」係へ　メール gakugei@nnn.co.jp

真心胸にしみ心洗われた日

仲田みどり（米子市河岡、69歳）

特定の曜日だけアルバイトに出ています。職種はサービス業。お客さまに自分から「おはようございます」「お疲れさまです」とあいさつをします。各部署の清掃などが主な仕事で、先輩方の笑顔と気遣いに支えられ、仕事の要領を得るまで緊張していました。

玄関の外周りを清掃中のことです。お客さまと若い従業員が談笑中でした。会話が弾み、お客さまが従業員へ自販機から好きな飲み物を買ってあげる成り行きのようです。ところが、私たちにまで勧められるのです。恐縮して、ありがたくご厚意をいただきました。

笑顔も愛想も乏しい自分にはこの仕事は不向きと思っていました。しかし縁があり、導かれたのでしょう。おおらかなお客さまの真心が胸にしみました。心が洗われ、目の前が明るくなる思いでした。

人生いくつになっても全て「学び」です。あいさつは日常生活でも、仕事上においても肝心な基本です。心を込めたあいさつを心掛けることを誓いました。

うれしい半面成長に寂しさ

城上　洋子（鳥取市杉崎、74歳）

孫2人が年子なので昨年と今年、小学校の卒業式と中学校の入学式へ2年続けて出かけました。卒業の時はまだ幼さが残る顔を少し緊張させ、別れのあいさつをしていた子が、わずか2週間たった中学入学の時には、制服を身につけ整列した姿が一段と大人びて見えるから不思議です。

子供たちは普段の会話でいろいろ話しかけても「ウン」とか「ソウ」とかの返事で愛想があまりありません。今までは「おじいちゃん、おばあちゃん」と何かと頼りにされていたのに…。だんだん成長しているのだとうれしい半面、少し寂しい気がします。

2人は同じ中学校へ自転車通学ですが、一緒に出かけたのは最初の一日だけ。後は時間差をつけ違ったルートを通って行きます。これも個性が出てきた成長過程かと感じます。元気に出かけて行く後ろ姿を見送り、帰って来て顔を見て「ニコッ」とする笑顔に出会うと、私も主人も大いに元気が出ます。経験を重ね元気に成長していく姿を見守っていたいと思います。

安田つた江（兵庫県香美町香住区安木）
今日も元気でがんばります。

散歩道

おかげさまで米寿

若い時お酒を飲み過ぎたためアルコール依存症になったが、還暦の頃精神科に入院して治療を受け、退院と同時に断酒会に入会し、以来二十数年にわたって酒のない生活が続いている。

酒さえ飲まなければ人並みの生活が送れるが、いったんわずかでも口にすると、それが誘い水となって止まらなくなり元のもくあみだ。やがての世行きであり、一生治らない病気なのである。

入院中、女性の見舞いを受けた。以前からの知り合いでもあった彼女は糖尿病を患い、10代の頃からインスリンに頼っている若年性なので、生涯治癒することの望めない病気を抱えていたのである。

共通の弱みを持つこともあって意気投合し一緒に生活することになったが、その時点でわが家からアルコール類は消えた。同時に食生活も大きく変化した。糖尿病の主治医の指導のもと、糖分、塩分、脂肪類一切薄めで野菜など中心の献立となった。

味も素っ気もないと感じたのは当座のことで間もなく慣れてきた子供の頃母が台所できし、食べさせてくれた料理と重なってきたではなかろうか。おろの味と言って、幼食べたものはおいしいものである。

この食事のおかげの調子も良くなり、ほど酒で傷めた体でながら、今の日本人の健康年齢をはるかに、平均寿命も過ぎ

お疲れさまでした

斉尾くにこ（北栄町由良宿）
お仕事お疲れさまでした。さきやかな幸せをゲットどうぞ。

潮流

エナテクス常務取締役境港支社長　磯江　公博

三朝町の賀茂保育園で毎月、園児を対象にメダカ論語塾を行っている。「子曰わく、父母は唯、その疾を之れ憂う」素読の大きな声が教室に響き渡る。月に三つ章句を毎日少しずつ素読、暗唱し、月末の塾では園児たちとその意味を一緒に学ぶ。10年前、孔子のふるさと中国曲阜を訪ねた時から論語に関わり始めた。

こうした時代だからこそ論語の勧め

最近、親殺しや祖父母殺しの事件が多発している。警察庁統計によると、2016年の殺人事件が895件で、そのうち親族関係が440件、つまり約49%が親族被害者で占められている。動機も「介護・看病の疲れ」「子育ての悩み」が目立ってきた。一方、一般家庭でも両親と3人暮らしで、母親と勉強のことで口論になったという理由で、高校生が母親を刃物で刺して殺す事件等も発生。わが家でも…とは思いたくないが、事件に至る背景に何があるのだろうか。

ところで、小中学校の「道徳の時間」が国語や算数などと同じような「特別の教科　道徳」として小学校では18年、中学校では19年4月から、それぞれ本格実施されることとなった。教科となる道徳は「考え、議論する道徳」を目指しているそうだ。背景には、いじめが原因の自殺の多発から道徳教育がクローズアップされ、文科相が「特別の教科」とすることを答申したからだ。

また、「何を知っているか」だけでなく「知っていることを使ってどのように社会、世界と関わり、よりよい人生を送るか」の資質、能力の引き上げを目指すとしており、教師には今まで以上に多様な展開と指導方法の工夫が求められる。政治や経済の動向、社会情勢の変化に伴って変遷してきた日本の道徳教育。今後も、少子高齢化や人口減という事態が進むにつれ、日本社会ではこれまでなかったような難題が次々と発生することだろう。

ところで、マイケル・ピルズベリー博士の著書『China2049』によると、隣国中国では「過去100年に及ぶ屈辱に復讐すべく、中国共産党革命100周年の2049年までに、世界の経済・軍事・政治のリーダーの地位を米国から奪取する」、その戦略の一つが孔子学院で、思想家・哲学者としても有名な「孔子」の名を借りた中国語教育機関の開設で、15年12月までに開設数は495の国・地域に達している。文化大革命により破壊した孔子哲学を、世界制覇のための長期的なプロパガンダの道具として広めるためだと指摘する。世界制覇といえば「一帯一路」構想、「AIIB」（アジアインフラ投資銀行）も根底は同じだろうか？　おそるべし中国。

同じ孔子の教えでも、日本に広がった論語は武士道の原点となり、日本人の精神文化につながっている。賀茂保育所を運営する谷口宗弘理事長が「親子三代論語塾」で述べた、「今や論語は人生の羅針盤として、混沌とした世相であるからなおさらのこと、生き方の道しるべ。論語の教えをこうした時代だからこそ地域に広めたい、家庭に広めたい。そして、未来ある幼い子どもたちにこそ『信』『志』『仁』の心を伝えたい」の思いに賛同し、今後も活動を続けたい。

（湯梨浜町）

今月の「育

サツ
もた

浜田　英
気高町勝
最近、わ

母の命
毎年大

影山シ
上福原、
私は昭和
今住んで
越してき
は田畑や
景でした
く、大根島
ボタンの苗
い背中に

植物も
大切な

中村　英
内町、59歳
もう30年
だろうか。
供たちと朝
をした。教
指で穴を開
っと入れ
た。その時
先生が「朝
気に育って
んなことを
らいいかな
た。
「水をあ
料をあげて
をする！」
て子供た
た。先生は
とにこに